

【10月期】9月4日(水)10時から受付開始

※金額には消費税が含まれています。

歴史

講座名	歴史の視点Ⅱー新たな視点で見る茨城の仏教史ー	
講師名	黒澤 彰哉 (元茨城県立歴史館史料学芸部長)	
講義日時	第1水曜 13時～14時30分	
	①10/2 ②11/6 ③12/4 ④2/5 ⑤3/5	
受講料	会員 6,600 円	
(5回分)	一般 9,900 円	
講座内容	<p>これまで扱われることの少なかった歴史資料をもとに、これまでとは異なる視点で茨城の仏教史を考えます。</p> <p>①10/2 平安仏教の広がりー最澄・空海・徳一ゆかりの寺院を中心にー 平安時代の高僧と言えば最澄・空海がよく知られていますが、茨城県や福島県では徳一ゆかりの寺院が造立され、南都仏教の教えが広がっていました。今回は、徳一ゆかりの寺院を中心に、次第に天台宗寺院になっていく様子を見ていきます。</p> <p>②11/6 仏像から見た鎌倉仏教の広がりー所謂「鎌倉仏教」の疑問ー 「鎌倉仏教」は、浄土宗の法然、浄土真宗の親鸞、臨済宗の栄西、曹洞宗の道元、日蓮宗の日蓮、時宗の一遍というように理解されますが、鎌倉時代の茨城の地ではどのような宗派が広がっていたのでしょうか。各地に造られた仏像をもとにその実態を見ていきます。</p> <p>③12/4 民衆の信仰資料から見た江戸時代の仏教ー祈願寺院と滅罪寺院ー 江戸時代、全国各地の村々に寺院が造営されました。それは檀家を有する檀那寺と呼ばれている寺院だけでなく、村堂という僧侶の常住しない建物も存在しました。今回は、歴史資料を中心に江戸時代の仏教を見ていきます。</p> <p>④2/5 子返し絵馬と寺院ー柳田国男の理解に対する疑問ー 柳田国男の第二の故郷と呼ばれている利根町には、代表的な子返し絵馬として知られている徳満寺の絵馬が伝えられています。この徳満寺の絵馬に対する柳田国男の理解が正しいのかどうか、新たな視点で取り組んでいきます。</p> <p>⑤3/5 社寺明細帳図から見た明治時代の宗教政策ー廃仏毀釈以上の危機ー 明治時代の宗教政策のひとつに廃仏毀釈がありますが、全国の寺院にとって本当の危機となったのは上知令という政策でした。神奈川県に残された「社寺明細帳図」をもとに、寺院が疲弊していく理由を考えてみます。</p>	

講座名	常陸中世史探訪22	
講師名	糸賀 茂男 (常磐大学名誉教授)	
講義日時	第2、第4火曜 10時～11時30分	
	①10/8 ②10/22 ③11/12 ④11/26 ⑤12/10 ⑥12/24 ⑦1/14 ⑧1/28 ⑨2/25 ⑩3/11	
受講料	会員 13,200 円	
(10回分)	一般 16,500 円	
講座内容	<p>今、日本中世史が面白い。平安・鎌倉・南北朝・室町・戦国各期の常陸の歴史を探訪しつつ、真の日本の成り立ちを感じ取っていきましょう。</p>	

講座名	常陸平氏の勃興と変遷		
講師名	中根 正人 (筑波技術大学職員、茨城地方史研究会会員)		
講義日時	第2土曜 10時～11時30分		
	①11/9 将門の乱と常陸国 ②1/11 常陸平氏の発展 ③2/8 源平合戦と常陸平氏		
受講料 (3回分)	会員	3,960 円	
	一般	5,610 円	
講座内容	<p>中世の常陸国で活躍した常陸平氏の一族について、その登場から平安～鎌倉初期における活動を史料に基づきながらみていきます。</p>		

講座名	江戸時代を見直す(その2)		
講師名	永井 博 (茨城県立歴史館史料学芸部特任研究員)		
講義日時	第4金曜 13時～14時30分		
	①10/25 生命尊重への転換—「生類憐みの令」と「物忌令」— ②11/22 思想と宗教、信仰 ③12/27 江戸の教育力—藩校と私塾— ④1/24 江戸の旅—公務から物見遊山まで— ⑤2/28 江戸文化を楽しむ—文学・絵画・造形—		
受講料 (5回分)	会員	6,600 円	
	一般	9,900 円	
講座内容	<p>現代日本の基礎としての江戸時代の再評価が進んでいます。本講座ではテーマを設定して学んでいきます。</p>		

講座名	古文書を読む		
講師名	平野 明夫 (國學院大學兼任講師)		
講義日時	第2、第4木曜 13時～14時30分		
	①10/10 ②10/24 ③11/14 ④11/28 ⑤12/12 ⑥1/9 ⑦1/23 ⑧2/13 ⑨2/27 ⑩3/13		
受講料 (10回分)	会員	13,200 円	
	一般	16,500 円	
講座内容	<p>むかしの手紙に書かれたくずし字を読んでいます。古文書を読むというと江戸時代の古文書が多いですが、それ以前の古文書も読んでいきたいと思えます。有名人の手紙も取り上げます。</p>		

講座名	常総の歴史—秀郷流藤原氏と常総	
講師名	平野 明夫 (國學院大學兼任講師)	
講義日時	第2、第4木曜 15時～16時30分	
	①10/10 藤原秀郷—その出自と活躍—	
	②10/24 常総の秀郷流藤原氏—結城・下河辺・山川—	
	③11/14 鎌倉幕府成立と結城氏—寒河尼・朝光と源頼朝	
	④11/28 下河辺氏の活躍—行義・行平・政義、そして武家故実—	
	⑤12/12 山川氏の展開—得宗との係わり—	
	⑥1/9 結城合戦—結城氏から見た—	
	⑦1/23 戦国大名結城氏の動向—政朝・政勝・晴朝の時代—	
	⑧2/13 戦国大名結城氏の支配—結城城下町と結城氏新法度—	
	⑨2/27 山川氏の中近世移行期—結城一門—	
	⑩3/13 結城秀康—徳川家康の子—	
受講料	会員 13,200 円	
(10回分)	一般 16,500 円	
講座内容	茨城県南西部から千葉県北西部にかけての地域に関する歴史を解説します。オオムカデ退治の伝説がある俵藤太。それは平将門を討った藤原秀郷の別名です。その子孫は北関東から東北地方へかけて勢力を伸ばしていきます。そして、常総地域にも大きな影響を与えます。その秀郷流藤原氏の動向を見ていきます。	

講座名	長塚節『土』から読み解く茨城の生活文化(後編)		
講師名	伊藤 純郎 (筑波大学名誉教授)		
講義日時	第1、第3金曜 10時～11時30分		
	①10/4 おつぎの青春—年中行事と若者組		
	②10/18 卯平の衰え—老人と年寄りの知恵		
	③11/1 勘次の生活—小作と地主		
	④11/15 与吉の成長—学校と教育		
	⑤12/6 節の母—『土』のモデルと映画『土』		
受講料	会員 6,600 円		
(5回分)	一般 9,900 円		
テキスト代	737円(税込)『土』長塚節 著 (新潮文庫) *各自ご用意ください。		
講座内容	長塚節の長編小説『土』(1912年)を読み解きながら、常総・つくば地域の近代史を、おつぎ、卯平、勘次、与吉、節の母の視点から考察します。		

講座名	利根川から考える茨城の環境	
講師名	橋本 直子 (歴史地理学会会員、専修大学兼任講師)	
講義日時	第2金曜 13時～14時30分	
	①11/8 絵図・地図からみる茨城の景観 国絵図や河川絵図類、古地図類を読み解きながら茨城の河川景観の移り変わりを探ります。 ②12/13 河川と生活 河川堤防の変遷や受け継がれてきた伝統的河川工法が、近代治水へ移行する歴史を考えます。 ③1/10 河川と災害 東日本大震災や常総水害など土地の履歴が原因で起こった諸災害を知り、防災・減災について学びます。	
受講料	会員	3,960 円
(3回分)	一般	5,610 円
講座内容		
<p>利根川等によって作られた茨城の平野は、河筋の変化や改修などをうけて現在に至っています。治水と利水の歴史や河川と関わる自然災害を近年の災害も含めて考えます。</p>		

講座名	New ! 茨城の江戸時代の諸大名	
講師名	千葉 隆司 (かすみがうら市歴史博物館館長)	
講義日時	第1、第3土曜 10時～11時30分	
	①12/7 かすみがうら市の交代寄合本堂家 ②12/21 つくば市の谷田部藩細川家 ③1/18 筑西市の下館藩石川家 ④2/1 行方市の麻生藩新庄家 ⑤2/15 古河市の古河藩土井家	
受講料	会員	6,600 円
(5回分)	一般	9,900 円
講座内容		
<p>江戸時代の茨城は、数多くの大名が治める地域でした。今回は、谷田部藩と細川氏、麻生藩と新庄氏、下館藩と石川氏、古河藩と土井氏、志筑と交代寄合本堂家の歴史を学びます。</p>		